

亀岡市行財政改革大綱 2020-2024 実施計画

令和2年度取組結果

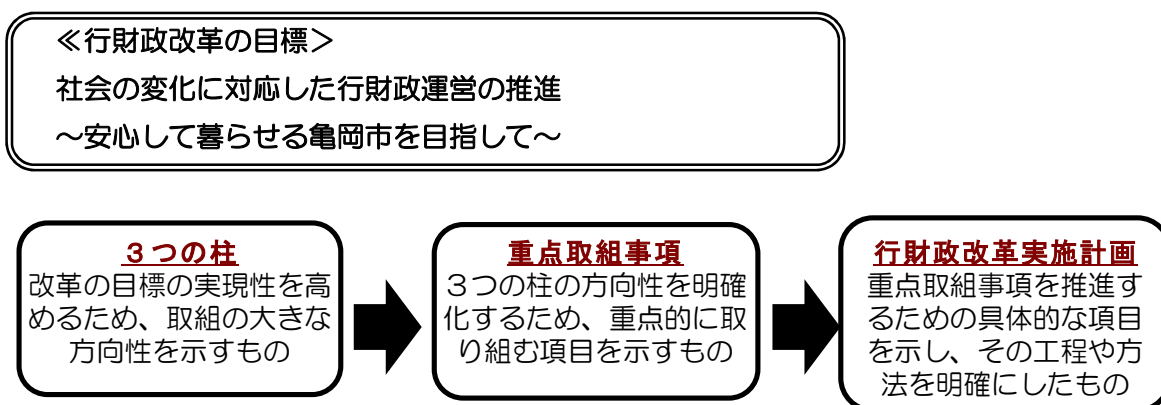
亀 岡 市

1 亀岡市行財政改革大綱 2020-2024 実施計画（令和2年度）取組結果について

本市では、健全で効率的な行財政運営を推進するため、行財政改革大綱2020-2024 と同大綱に基づく実施計画を策定しながら行財政改革の取組を進めています。

大綱は、行財政改革に対する取組の方向性を示した基本方針であり、実施計画は、大綱に掲げる重点取組事項を推進するための具体的な項目を示し、その工程や方法を明確にしたものです。

《行財政改革大綱 2020-2024 の概念図》



令和2年度実施計画の取組結果は、大綱の計画期間5カ年（令和2年度から令和6年度）のうち、令和2年度における具体的な取組内容を取りまとめています。

令和2年度実施計画では、13の取組項目を推進しました。具体的な取組結果については、別紙実施計画調書にそれぞれ取組内容や実績、評価等を記載しています。

3 シートにおける各項目の見方

実施計画シート

「No.」	取組を進行管理するための管理番号
「取組項目」	取組項目の名称
「所管課」	取組項目に取り組む、または取りまとめを行う課
「関係課」	取組項目に対して庁内横断的に取り組む課
「取組内容」	取組項目を達成（実現）するために実際に行う内容 (取組手法)
「期待される効果」	取組項目を実施することによる効果
「計画年度」	取組を実施する年度
「実施項目と計画」	取組項目を達成（実現）するために実施する具体的な 実施項目と年度ごとの計画（工程）
<p>計画は、「準備」、「実施」で表記する。</p> <p>「準備」…具体的取組を実施するための検討を行い、 実施に向けた準備を行う期間</p> <p>「実施」…具体的取組を実施する時期</p>	
「目標指標と数値目標」	取組内容や実施項目が達成できたかを判断するための 指標と数値目標
<p>※新規の取組で明確な数値目標を算定できない取組 項目や取組内容の結果を数値化できない項目につい ては、目標指標を設定していない。</p>	

進捗管理シート

「実施状況 計画」	各年度の半期ごとに行う具体的な計画
「実施状況 実績」	各年度の半期ごとに行ったこと（実績）

以下の項目については、年度末に記載

「評価」	当該年度に行ったことの評価
------	---------------

「達成度」

「計画」：年度計画に対する取組実績の評価

「目標」：目標指標に対する取組実績の評価

「目標（実績値）」：数値目標の実績値

※「計画」及び「目標」の達成度は、1～5までの5段階で評価

1：非常に低い	2：低い	3：普通
4：高い	5：非常に高い	

「未達成の原因と今後の取組」 達成度が「1」または「2」になった原因と今後の取組

「今後の方向性」

今後の取組の方向性のこと

選択肢「継続」、「終了」から選択

「継続」…引き続き取組を継続する

「終了」…当該年度で取組を終了する

※「コメント」欄は、改善事項や今後の取組、また今後の方向性で特記すべきことを記載

「行政改革推進委員会の評価」 実施結果の達成度を1～5までの5段階で評価した平均値

1：非常に低い	2：低い	3：普通
4：高い	5：非常に高い	

重点取組事項	1-①市民目線に立った窓口サービスの構築
--------	----------------------

実施計画シート									
No.	1	取組項目	窓口サービスの充実・事務改善						
所管課		企画調整課・市民課	関係課	保険医療課、高齢福祉課、障がい福祉課、税務課、総務課、窓口業務関係課					
取組内容		・窓口で提出する書類の簡素化や市民への効率的な案内方法等について、充実、事務改善を図る。 ・死亡届に伴う各種手続きについて、事前予約制による職員派遣型ワンストップ（※）窓口として、おくやみ窓口を設置する。							
期待される効果		窓口業務の見える化と効率化により、待ち時間を減少させる。 複雑な手続きが座って落ち着いた環境で出来る。高齢の遺族も安心して手続きが出来る。							
計画年度				R2	R3	R4	R5	R6	
実施項目と計画		<u>①窓口業務のあり方の検討</u>							
		対象となる窓口業務の洗い出し（庁内調査）		準備	実施	実施			
		他市の状況等の分析		準備	実施	実施			
		窓口業務のあり方の検討・改善			準備	実施	実施	実施	
		<u>②おくやみ窓口の設置</u>							
		各業務の対応時間確認、連携方法の検討、業務フロー決定		実施					
		設置場所・設備関係の調査 設備の設置		実施					
		おくやみ窓口の運用			実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	見直しを検討・改善した窓口業務数		—	—	1	2	2	
		おくやみ窓口の設置		90%	100%	—	—	—	

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	【②おくやみ窓口の設置】 各業務の対応時間確認、連携方法の検討 設置場所、設備関係の調査			実績	【②おくやみ窓口の設置】 おくやみ窓口開設に向けた調査(手続き項目、手続き内容、所要時間、課題等) おくやみ窓口に係るワーキング会議の開催(窓口の運用、課題、設置場所の検討等)		
	下半期	計画	【②おくやみ窓口の設置】 業務フロー決定 設備の設置			実績	【②おくやみ窓口の設置】 おくやみ窓口に係るワーキング会議の開催(業務フロー決定、設置に係る詳細の検討等) 設備の設置(レイアウト変更、諸設備工事)、おくやみ窓口開設の試行運用開始		
実施結果の 自己評価	評価		【②おくやみ窓口の設置】 本格稼働に向けた試行運用として、当初の予定より早くおくやみ窓口を開設することができた。						
	達成度	計画	5		目標	5	目標 (実績値)	100%	
未達成の原因と 今後の取組			—						
今後の方向性			継続	コメント	【②おくやみ窓口の設置】本格稼働に向けてワーキング会議を開催し業務内容等の見直しをする。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4		II 目標	4		Ⅲ妥当性	3

※ワンストップ… 1 カ所の窓口カウンターで手続きをすること。

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	2	取組項目	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実					
所管課		広報プロモーション課	関係課	情報発信を行う各課				
取組内容		市政情報の市ホームページ、SNS等による積極的な発信						
期待される効果		積極的な発信によって市政情報を共有し、市民の市政への参画の促進を図る。						
計画年度				R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		情報発信に対するレスポンス数の調査	実施	実施	実施	実施	実施	
		調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し	実施	実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の年度総計	310,000	315,000	320,250	325,500	325,500	

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査			実績	市ホームページへのアクセス件数、SNS フォロワー数の総計（上半期） 512,982件		
	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検 討・見直し			実績	市ホームページへのアクセス件数、SNS フォロワー数の総計（下半期） 258,953件 ホームページのリニューアルに向け精査・ 検討を行った。		
実施結果の 自己評価	評価	新型コロナウイルス感染症関連の情報をほぼ毎日発信したことにより、アクセス数・フォ ロワー数が増加した。ホームページのリニューアルに向け、掲載記事の精査・課題等の協 議を行った。							
	達成度	計画	4		目標	5		目標 (実績値)	753,486件
未達成の原因と 今後の取組		—							
今後の方向性		継続	コメント	令和3年11月から新ホームページの運用開始予定。スマート フォン等での閲覧を前提とし、さらなる情報発信の強化と利便性 を目指す。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4		II 目標	4		Ⅲ妥当性	3

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	3	取組項目	市民協働の推進				
所管課		市民力推進課	関係課	全課			
取組内容		職員や市民、事業者等に対して地域の課題解決の必要性やそのための市民活動と協働について理解を広める手法を検討し、実施する。					
期待される効果		市民活動に参画する機運が高まり、関わる人が増える。					
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		市民活動と協働について理解を深める手法の検討・知る機会の創出	実施	実施	実施	実施	実施
		地域課題の共有と課題解決に向けた協働の促進	準備	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	市民活動や協働に関する事例の提供		実績	亀岡市ホームページやコミュニティ紙における広報		
	下半期	計画	まちづくりに関するフォーラムの開催		実績	市民活動団体へのアンケートの実施		
実施結果の 自己評価	評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためフォーラムは中止したが、市民活動団体へアンケートを実施し、現在の活動状況や課題、市の支援金事業への意見をいただいた。令和3年度事業に反映したほか、今後の事業の検討材料とする。						
	達成度	計画	3		目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組		—						
今後の方向性		継続	コメント	アンケート結果の詳細分析を実施し、現在の支援金制度の課題を把握し、改善に努める。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	—	III 妥当性	3

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	4	取組項目	公民連携によるまちづくり					
所管課		企画調整課	関係課	全課				
取組内容		民間企業等との連携、民間活力の導入について検討し、公民連携によるまちづくりを進める。						
期待される効果		民間活力を導入することで、行政サービスの質の向上を図る。						
計画年度				R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		民間企業等との連携、協定締結の推進	実施	実施	実施	実施	実施	
		包括協定（※）に基づく施策の推進	実施	実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—	

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 包括協定に基づく施策の推進			実績	民間企業等との連携、協定締結 新たな包括協定の締結に向け、1社と具 体的な協議を進行		
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 包括協定に基づく施策の推進			実績	民間企業等との連携、協定締結 上半期に協議を進行していた1社と包括協 定を締結 民間企業等との連携・協定締結状況の調査		
実施結果の 自己評価	評価	民間企業等と新たな協定を締結した。 庁内の状況把握及び課題把握に向け、協定締結状況等の調査を実施した。							
	達成度	計画	3		目標	—	目標 (実績値)	—	
未達成の原因と 今後の取組		—							
今後の方向性		継続	コメント	今後は、調査結果の分析及び課題把握を行う。また、他市の公民 連携の取組事例の調査を行う。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	—		III 妥当性	3

※包括協定…特定の分野に限ることなく、幅広い分野において協力しながら、取組を進めるために締結する協定のこと。

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-①分野横断的な組織体制の構築

実施計画シート

No.	5	取組項目	庁内連携システムの確立					
所管課		企画調整課	関係課	全課				
取組内容		様々な行政課題に対応するため、プロジェクトチームやワーキンググループ等を活用し、課を越えた横の連携を強化する。 組織の活性化と行政運営の効率化を図るため、プロジェクトチーム等の設置のあり方を見直す。						
期待される効果		横の連携を強化することで、施策の推進や行政課題の解決を図る。						
計画年度				R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用	実施	実施	実施	実施	実施	
		プロジェクトチーム、ワーキンググループの現状及び課題の把握	実施	実施	実施			
		プロジェクトチーム、ワーキンググループ設置のあり方を見直し		準備	実施	実施	実施	
		多様な連携方法の検討・試行			準備	実施	実施	
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—	—

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用		実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用		
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 現状及び課題把握のための調査		実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 プロジェクトチーム、ワーキンググループ等の活用状況についての調査		
実施結果の 自己評価	評価	プロジェクトチーム・ワーキンググループの会議を開催し、様々な課題について協議、検討を行った。 庁内の状況及び課題把握に向けた取組を行った（活用状況についての調査を実施）。						
	達成度	計画	3		目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組		—						
今後の方向性		継続	コメント	今後は調査結果を分析し、課題整理を行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	—	Ⅲ妥当性	3

重点取組事項	2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり
--------	--------------------------

実施計画シート							
No.	6	取組項目	人材の育成、職員研修の充実				
所管課		人事課・市立病院経営企画室	関係課				
取組内容		・職員研修や階層別研修、派遣研修等の実施効果の検証や見直し等を行い、職員研修の充実を図る。 ・日々発生する医療の課題に対して、各部署参加の委員会、研修会を実施し、病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力を強化する。					
期待される効果		職員の業務能力の向上、職員の仕事に対するモチベーション向上					
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		①人材の育成、職員研修の充実					
		研修計画の策定と運用	実施	実施	実施	実施	実施
		職員研修、他団体への派遣研修	実施	実施	実施	実施	実施
		②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化					
		医療安全管理に係る研修会	実施	実施	実施	実施	実施
		感染対策に係る研修会	実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	選択希望制研修の延べ受講者数	100	105	110	115	120
		医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施回数	2	2	2	2	2

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他 団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管 理能力の強化】医療安全管理に係る研修会 または感染対策に係る研修会			実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団 体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理 能力の強化】感染対策に係る研修会の実施
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団 体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管 理能力の強化】医療安全管理に係る研修会 または感染対策に係る研修会			実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体 への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理 能力の強化】医療安全管理及び感染対策に係 る研修会の実施
実施結果の 自己評価	評価	【①人材の育成、職員研修の充実】 新型コロナウイルス感染症拡大により、集合研修や派遣研修の実施が難しいなか、テキス ト研修や動画研修などの実施も行った。					
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値)	115人
	評価	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る研修及び感染対策に係る研修を計4回実施することができた。 医療安全管理研修を実施することにより、職員の医療安全管理の能力向上に繋がり、ま た、感染対策研修で新型コロナウイルス感染症に対する知識を深めることにより、実際の 発熱外来、入院環境整備で活用することができた。					
	達成度	計画	5	目標	5	目標 (実績値)	4回
未達成の原因と 今後の取組		—					
今後の方向性		継続	コメント	【①人材の育成、職員研修の充実】 eラーニング研修などコロナ禍に対応した新しい研修手法を導入 し、職員研修の充実を図る。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も継続して、医療安全管理に係る研修及び新型コロナウイル ス関連等の感染対策研修を実施し、職員の能力向上に取り組む。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	①Ⅰ計画	3	Ⅱ目標	3	Ⅲ妥当性	3
		②Ⅰ計画	5	Ⅱ目標	4	Ⅲ妥当性	4

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	7	取組項目	人事評価制度の運用					
所管課		人事課	関係課					
取組内容		職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような人事評価制度の運用を図る。 また、毎年度の実施状況等に応じてより良い評価制度となるよう、制度の見直しを行う。						
期待される効果		・職員の主体的な職務の遂行及びより高い能力を持った公務員の育成 ・組織全体の士気高揚を促し、公務能率の向上につなげ、住民サービス向上の土台をつくる						
計画年度				R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		人事評価	実施	実施	実施	実施	実施	
		(職務目標の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)、フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談(育成面談)、ステップアップ面談)						
		人事評価制度の見直し	実施	実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—	

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）			実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）、行動記録表の記入、人事評価研修（評価者・被評価者）の実施		
	下半期	計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談（育成面談）、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証			実績	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、最終評価、フィードバック面談（育成面談）、最終評価結果の開示、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証		
実施結果の 自己評価	評価	制度見直し後、1年間の試行期間を経て令和2年度から本格実施となったが、特段問題なくスムーズに実施できた。新型コロナウイルス感染症拡大により集合形式での人事評価研修が実施できず書面研修となったが、一定制度理解が進んだと思われる。							
	達成度	計画	3		目標	—	目標 （実績値）	—	
未達成の原因と 今後の取組		—							
今後の方向性		継続	コメント	本格実施後1年が経過したところであるが、さらに制度の理解・定着を図っていくとともに、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	—		III 妥当性	3

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	8	取組項目	業務効率を高めるためのICTの活用					
所管課		企画調整課・情報政策課	関係課	全課				
取組内容		効率的で持続可能な行財政運営を推進するため、RPA（※）を始めとする業務の効率化が期待できるICT（情報通信技術）の活用を図る。						
期待される効果		業務の効率化を図り、よりよい市民サービスにつなげる。						
計画年度				R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		RPAの活用及び活用業務の拡大	実施	実施	実施	実施	実施	
		AI-OCR（※）活用及び活用業務の拡大	実施	実施	実施	実施	実施	
		AI（※）の活用検討		実施	実施	実施	実施	
		ICTツールの調査研究		実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	RPA適用を検討・導入した事務数	3	5	5	5	5	

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	RPA、AI-OCR運用 運用ルール策定、シナリオ作成			実績	RPA、AI-OCR運用（特別定額給付金事務等） RPA運用ルールの整理		
	下半期	計画	RPA、AI-OCR運用、シナリオ作成 次年度RPA適用業務の検討			実績	RPA、AI-OCR運用、シナリオ作成、 職員研修会実施、次年度RPA適用業務の検討		
実施結果の 自己評価	評価	コロナ禍のためWGの開催はできなかったが、各担当者と連携してシナリオ開発及び運用を行った。実機を使った操作研修会の実施により若手職員を中心にRPAの啓発を行った。							
	達成度	計画	4		目標	4	目標 （実績値）	5件	
未達成の原因と 今後の取組		—							
今後の方向性		継続	コメント	作成したシナリオやパーツの活用が図れるように、担当課との調整をより細やかに行っていく必要がある。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4		II 目標	4		Ⅲ 妥当性	3

※RPA…定型的なパソコン操作をソフトウェア型ロボットにより自動化すること。

※AI-OCR…人工知能（学習機能）を搭載した、文字を読み取って文字データへと変換する技術のこと。

※AI…人工知能のこと。

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	9	取組項目	電子決裁の推進				
所管課		総務課	関係課	企画調整課、財政課、会計課			
取組内容		迅速な意思決定と効率的な事務執行のため、電子決裁の浸透と対象範囲の拡大に取り組む。					
期待される効果		事務の効率化・迅速化の推進、コピー使用量及び紙文書の削減					
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		運用状況の把握、先行自治体等の調査・研究	実施				
		庁内における推進体制の確保	準備	準備	実施	実施	実施
		環境整備（財務会計システムとの連携、機器の導入、各種規程の見直し）		準備	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	電子決裁の運用状況の把握 近隣市及び先行自治体の調査・研究			実績	電子決裁の運用状況の把握 近隣市の導入状況の調査		
	下半期	計画	課題の整理、効果の試算 庁内推進体制の整備			実績	現状把握と課題の整理 庁内推進体制の整備に向けた検討		
実施結果の 自己評価	評価	近隣市の導入状況の調査や、電子決裁の運用状況を把握する中で、一定課題の整理ができた。							
	達成度	計画	3		目標	—	目標 (実績値)	—	
未達成の原因と 今後の取組		—							
今後の方向性		継続	コメント	庁内推進体制の整備を進め、職員への意識調査を行うなど、引き続き電子決裁の運用拡大に向けた課題の洗い出し、検討を進めていく。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	—	III 妥当性	3	

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	10	取組項目	経常的経費を含む事務事業の検証					
所管課		財政課	関係課	全課				
取組内容		経常的経費（※）を含む事務事業の実態を把握、検証した上で、事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルド（※）などを徹底することで、健全で持続可能な財政運営を行う。						
期待される効果		最少の経費で最大の効果を挙げることの徹底						
計画年度				R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		財政担当による経常的経費を含む事務事業の見直しや改善・課題点などの検討	実施	実施	実施	実施	実施	
		主管課による事務事業の実態把握及び検討	実施	実施	実施	実施	実施	
		検討事項の審査	実施	実施	実施	実施	実施	
		当初予算など編成事務において事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルドなどの実施	実施	実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	経常的経費における事務事業の見直し（検討数）	10	10	10	10	10	

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査			実績	既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始		
	下半期	計画	審査結果に基づく当初予算などの編成			実績	当初予算における要求上限額の決定・通知 当初予算における経常経費の配分決定		
実施結果の 自己評価	評価	スクラップ・アンド・ビルドの徹底を図るため、当初予算編成前に経常経費を含めた既存事業の見直し（サマレービュー）等を各所管において行い、財政調整基金の取り崩し額を前年度より抑制等することができ、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行うことができた。							
	達成度	計画	5		目標	5	目標 （実績値）	20件	
未達成の原因と 今後の取組		—							
今後の方向性		継続	コメント	時代の変化やニーズに合った事業を推進することができるよう、今後も、経常的経費を含む事務事業の検証を継続する。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	5		II 目標	5	Ⅲ 妥当性	4	

※経常的経費…義務的経費（支出が義務付けられている人件費、扶助費及び公債費の合計）のほか、物件費、補助費等で毎年度継続的に支出される経費のこと。

※スクラップ・アンド・ビルド…既存事業の見直しや改善、廃止を意識し、事業の再構築を図ること。

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	11	取組項目	元金償還額を上回らない市債の発行					
所管課		財政課	関係課	全課				
取組内容		償還財源に多額の一般財源を充当することから、市政運営の根幹にかかわる事業を除き、市債は、公債費の元金償還額を上回らない発行額とすることで、健全財政を維持する（※）。						
期待される効果		償還財源に多額の一般財源を充当する公債費の削減						
計画年度				R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		元金償還額を上回らない市債の発行	実施	実施	実施	実施	実施	
		公債費の抑制	実施	実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	年度末の市債残高	421.0億円	418.5億円	416.0億円	413.5億円	411.0億円	

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討			実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、 優先順位等の検討		
	下半期	計画	検討結果に基づく当初予算等の編成			実績	市債発行を伴う事業を精査等する中で、元金 償還額を上回らない市債発行となる当初予算 を編成		
実施結果の 自己評価	評価	元金償還額を上回らない市債の発行に努め、公債費を削減することができた。							
	達成度	計画	5		目標	5	目標 (実績値)	407.4億円	
未達成の原因と 今後の取組		—							
今後の方向性		継続	コメント	健全な財政運営を維持するため、今後も、元金償還額を上回ら ない市債の発行に努める。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4		II 目標	4		Ⅲ妥当性	4

※一般財源…使途が特定されない財源のこと（市町村税や普通交付税など）。

※市債…学校建設や道路整備のように一時的に多額の費用が必要となる時に、地方公共団体が国や銀行などから借り入れる資金のこと。

※公債費…地方公共団体が長期的に借り入れた資金（地方債）の元利償還金や、一時的に借り入れた資金の利子の支払いに要する経費。

※元金償還額…市債の元金返済額のこと。

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	12	取組項目	公共施設マネジメントの推進					
所管課		財産管理課	関係課	各施設所管課				
取組内容		公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（施設の廃止、統合等）などを検討し、効率的・効果的な施設運営のあり方を検討し、見直す。						
期待される効果		施設の適正化により安定した財政運営を図る。						
計画年度				R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		施設の廃止、統合等の検討・見直し	実施	実施	実施	実施	実施	
		各施設個別計画の策定	実施	実施				
目標指標	数値目標	建築施設延床面積削減率（平成２８年対比）	1.48%	1.85%	2.22%	2.59%	2.96%	

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催		実績	各個別計画策定状況の把握及び作成依頼		
	下半期	計画	各個別施設計画の策定		実績	各個別施設計画の策定		
実施結果の 自己評価	評価	建築施設の延床面積削減率は、数値目標を達成している。各個別施設計画の策定は、状況把握及び各施設所管課への作成依頼を行い、予定した全施設の計画策定を達成した。						
	達成度	計画	4		目標	4	目標 (実績値)	3.41%
未達成の原因と 今後の取組		—						
今後の方向性		継続	コメント	施設の廃止、統合等の検討・見直しを引き続き行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4		II 目標	4	Ⅲ 妥当性	3

※公共施設マネジメント…公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（総量縮減）など、市が保有する公共施設を最適に維持管理し、有効活用を図ることで、適切な行政サービスの提供と安定した財政運営を両立させるための取組のこと。

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-②受益と負担の見直し

実施計画シート

No.	13	取組項目	受益者負担の適正化				
所管課		企画調整課・教育総務課	関係課	使用料・手数料の所管課			
取組内容		受益と負担の公平性を確保する観点から、公共サービスの手数料や使用料について、近隣市との比較による現状分析等を実施し、適正な負担の程度の検証や適正化を図る。					
期待される効果		受益と負担の公平性を保つ					
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		①使用料・手数料の検証					
		使用料・手数料の状況把握、近隣市の状況調査	実施	実施	実施		
		調査結果の検証、近隣市との比較等による現状分析		実施	実施	実施	
		使用料・手数料の適正化の検討・見直し		実施	実施	実施	実施
		②学校施設使用料の検証					
		学校施設使用料の状況把握、近隣市の状況調査	実施				
		調査結果の検証 近隣市との比較等による現状分析	実施				
		使用料徴収の適正化を検討・見直し		実施	実施		
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	【②学校施設使用料の検証】 学校施設使用料の現状把握		実績	【②学校施設使用料の検証】 平成27年度から令和元年度までの、「小学校施設使用料」「中学校施設使用料」から「平均」を算出。 京都府下の他市の「体育館使用料」「グラウンド使用料」「使用条例・規則」を調査し、亀岡市の使用料と比較。		
	下半期	計画	【②学校施設使用料の検証】 近隣市の状況調査		実績	【②学校施設使用料の検証】 京都府内の他市の状況を調査し、亀岡市の使用料と比較した。また、亀岡市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正し、申請方法及び使用料徴収の改善を図った。		
実施結果の 自己評価	評価	【②学校施設使用料の検証】近隣市の学校施設使用料及び使用条例を調査し、亀岡市との比較等による現状分析を行った。亀岡市の使用料が他市と比較して概ね適当であることが把握できた。また、亀岡市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正することで、使用者の負担軽減を図ることができた。						
	達成度	計画	5		目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組		—						
今後の方向性		継続	コメント	【②学校施設使用料の検証】使用料徴収の適正化を検討し、使用料支払いの利便性の向上を図っていく。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4		II 目標	—	Ⅲ 妥当性	3

亀岡市行財政改革大綱 2020-2024
実施計画 令和2年度取組結果

亀岡市政策企画部企画調整課

〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地

TEL(0771)25-5006/FAX(0771)24-5501

E-Mail yume-vision@city.kameoka.lg.jp